

平成30年度資金収支計算書

当該年度の資金の流れ及び収入・支出のてん末を明らかにするものです。

(単位：千円)

科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	3,774,312	3,769,564	4,748
手数料収入	73,191	63,913	9,278
寄付金収入	26,620	35,609	△ 8,989
補助金収入	1,000,276	1,113,743	△ 113,467
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	1,000	1,101	△ 101
受取利息・配当金収入	74,753	78,226	△ 3,473
雑収入	119,862	171,074	△ 51,212
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	352,337	325,011	27,326
その他の収入	310,106	344,105	△ 33,999
資金収入調整勘定	△ 403,790	△ 549,932	146,142
前年度繰越支払資金	2,893,179	2,893,179	0
収入の部合計	8,221,846	8,245,593	△ 23,747

入学検定料等の収入です

翌年度に入学予定の学生生徒等から受入れる授業料等です

収入で計上したが未収のものや、前年度までに受入れた前受金を減額して、収入額を調整するものです

科目	予算	決算	差異
人件費支出	3,446,500	3,488,777	△ 42,277
教育研究経費支出	894,701	923,661	△ 28,960
管理経費支出	322,261	298,888	23,373
借入金等利息支出	280	280	0
借入金等返済支出	13,500	13,500	0
施設関係支出	839,156	759,840	79,316
設備関係支出	192,877	183,633	9,244
資産運用支出	51,265	71,004	△ 19,739
その他の支出	228,804	264,363	△ 35,559
予備費	38,016		38,016
資金支出調整勘定	△ 179,310	△ 245,146	65,836
翌年度繰越支払資金	2,373,796	2,486,794	△ 112,998
支出の部合計	8,221,846	8,245,594	△ 23,748

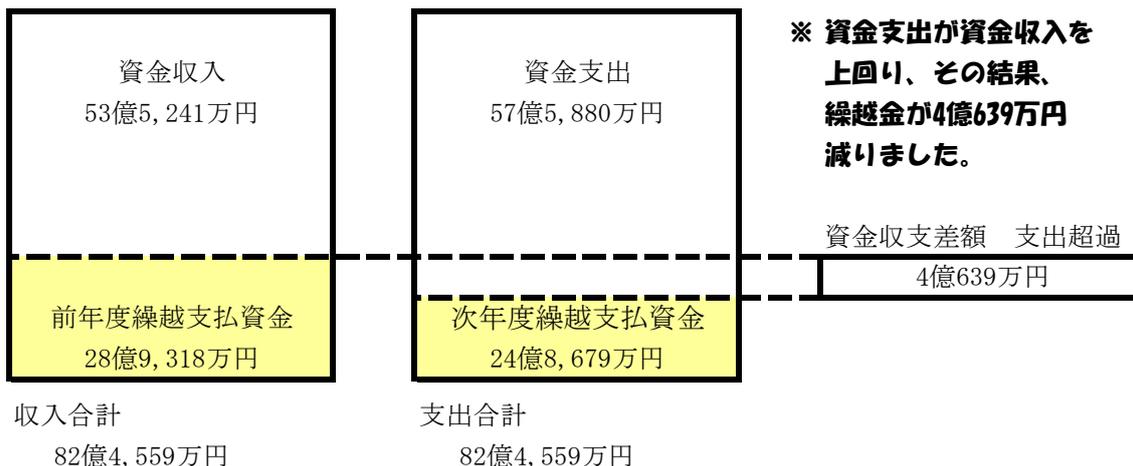
総務、経理等直接教育に関わらない経費です

土地、校舎等を取得するための支出です

パソコン等の備品や図書を取得するための支出です

支出で計上したが未払いのものや、前年度までに支払った前払金を減額して支出額を調整するものです

図解



〔 資金収入…学生生徒等納付金収入から資金収入調整勘定まで 〕

平成30年度事業活動収支計算書

事業活動上で得た収入（消費収入）と人件費等の諸経費（消費支出）のバランスを明らかにするためのものです。

(単位：千円)

		科 目	金 額
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	3,769,564
		手数料	63,913
		寄付金	29,295
		経常費等補助金	986,200
		付随事業収入	1,101
		雑収入	100,651
		教育活動収入計	4,950,724
		事業活動支出の部	人件費
	教育研究経費	1,335,234	
	管理経費	377,243	
	教育活動支出計	5,183,497	
教育活動収支差額		△	232,773
教育活動外収支	事業活動収入の部	受取利息・配当金	78,226
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	78,226
	事業活動支出の部	借入金等利息	280
その他の教育活動外支出		0	
教育活動外支出計		280	
教育活動外収支差額			77,946
経常収支差額		△	154,827

教育活動に対する事業活動の収支を明らかにするものです。

教育活動外に対する事業活動の収支を明らかにするものです。

		科 目	金 額
特別収支	事業活動収入の部	資産売却差額	10
		その他の特別収入	141,978
		特別収入計	141,988
	事業活動支出の部	資産処分差額	86,729
その他の特別支出		39	
特別支出計		86,768	
特別収支差額			55,220
基本金組入前当年度収支差額		△	99,607
基本金組入額合計		△	646,706
当年度収支差額		△	746,313
前年度繰越収支差額		△	2,154,898
基本金取崩額			56,050
翌年度繰越収支差額		△	2,845,161

教育活動と教育活動外に対する事業活動以外の活動の収支を明らかにするものです。

事業活動収入計	5,170,938
事業活動支出計	5,270,545

※ この計算書は、企業では損益計算書に相当するものですが、目的が大きく違い、学校法人は、収支の均衡状態を表し、企業は、経営成績つまり収益の状態を表すための計算書です。一例として、収支の

バランスを、企業は「黒字」・「赤字」、学校法人は「収入超過」・「支出超過」と表現される違いがあります。

本学は、基本金を組入れる前の収支差額は、9,961万円の支出超過となりました。

平成30年度貸借対照表

その時点での財政状況を示すものです。

(単位：千円)

各種引当特定資産や預託金等があります

科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	20,743,777	20,495,357	248,420
有形固定資産	22,181,697	21,539,349	642,348
特定資産	9,107,048	9,244,414	△ 137,366
その他の固定資産	141,494	135,163	6,331
減価償却累計額	△ 10,686,462	△ 10,423,569	△ 262,893
流動資産	2,716,932	3,025,811	△ 308,879
資産の部合計	23,460,709	23,521,168	△ 60,459

現金預金、未収入金、前払金等があります

返済期限が1年を超える借入金や退職給与引当金があります

科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	2,081,768	2,046,493	35,275
流動負債	877,657	873,784	3,873
負債の部合計	2,959,425	2,920,277	39,148

返済期限が1年以内の借入金、未払金、前受金、預り金等があります

この額は資産総額と一致します

科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	23,346,446	22,755,790	590,656
第1号基本金	21,368,110	20,779,807	588,303
第2号基本金	1,250,000	1,250,000	0
第3号基本金	399,336	396,983	2,353
第4号基本金	329,000	329,000	0
繰越収支差額	△ 2,845,162	△ 2,154,898	△ 690,264
翌年度繰越収支差額	△ 2,845,162	△ 2,154,898	△ 690,264
純資産の部合計	20,501,284	20,600,891	△ 99,607
負債及び純資産の部合計	23,460,709	23,521,168	△ 60,459

学園が永続的に存続するために必要な資産等です
※下の参考をご覧ください

図解

資産の部
234億6,071万円 (100.0%)

負債の部① 29億5,943万円 (12.4%)
基本金の部② 233億4,645万円 (96.7%)
消費収支差額の部③ △28億4,517万円 (△9.1%)

※ 総資産（負債及び純資産） | 前年度より6,046万円減少し

純資産額(②+③) 205億128万円

資産総額 234億6,071万円

負債総額①+純資産額(②+③) 234億6,071万円

参考 第1号基本金…設立当初並びに設立後に取得した固定資産若しくは規模の拡大や教育の充実向上のために取得した固定資産の額

第2号基本金…将来取得する固定資産に充てる金銭その他の資産の額

第3号基本金…基金として継続的に保持し、運用する金銭その他の資産の額

第4号基本金…恒常的に保持すべき支払資金の額